

たぶせ愛 あふれるまちに



令和2年 年頭のあいさつ

田布施町長 東 浩二

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、令和最初の新春を健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また旧年中は、町政への温かいご支援とご協力を
賜り、厚く御礼申し上げます。

私が町長に就任し、早一年が過ぎました。改めて、
その責任の重さを痛感しており、本年も皆さ
まの付託にしっかりお応えできるよう、そして田
布施町の更なる発展のために、全力で邁進してい
く所存でございます。

さて、昨年も台風災害が相次ぐ中、特に10月の
台風19号では、関東甲信越、東北地方を中心に広
範囲で記録的な豪雨となり、7県71河川が氾濫、
住宅被害は8万棟、死者行方不明者は100人に
迫る未曾有の大災害となりました。年々、異常気

象が顕著化する現在、本町がこれまで経験したこ
とのない大災害をいつ受けるかもしれせん。こ
のため、国土強靱化対策の継続による災害対策事
業の一層の強化や、継続事業の早期完成を国県に
求めるとともに、自主防災組織の育成強化や災害
備蓄計画の見直し、町としての防災設備整備事業
に取り組んで参ります。

現在、田布施町では、第5次田布施町総合計画
のもと『笑顔と元氣あふれる住みよいまち』をめざ
し、各種施策を推進しております。

昨年の主な事業として、ソフト面では、子ども
医療費について小学校6年生まで無料化といた
しました。また、子育て世帯包括支援センター
『2525たぶせ』^{にここに}の開設、親元近居・子育て住ま
いる支援事業の拡充、小中学生を対象にしたワー

クシヨップの開催、高齢者などの居場所づくりとしての『みんなのカフェ』などに取り組みました。またハード面では、田布施地域交流館の増改築、小学校空調整備事業や中学校大規模改造事業に着手いたしました。

そして新年度には、継続事業として子ども子育てや障がい者支援の各施策、高齢者の健康づくりやスポーツ振興、中学校の大規模改造や荒廃農地解消に向けたほ場整備事業の推進など引き続き取り組んで参ります。また、新たに、学校ICT化事業、光ファイバー網整備、TAIKOスポーツセンター田布施グラウンド夜間照明施設の全面改修などに取り組みたいと考えております。

昨年8月には、2回目となる田布施町ふるさと交流会を東京で開催し、最近の田布施町の様子をご紹介するなど、たぶせ愛にあふれた素晴らしい会となりました。また、田布施農工高校との連携、協働に関する協定により、将来の地域社会を担う人材を学校と行政が一体となって育んでいく取組みを始めました。こうした田布施ネットワークを創っていくことは、将来のまちづくりに、非常に有意義なことと思います。

また昨年は、相続登記未了の固定資産に係る課税誤りが判明し、広報などでお詫びするとともに、新年度課税に向けた適正化と課税誤りに関する調査を早急に進めております。改めまして町民の皆さまに心からお詫びするとともに、信頼回復に向けて全職員で取り組んで参りますので、皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多き素晴らしい年となりますよう祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

